



# 速報

## 推薦・AO入試等合格者(12/7現在)

**茨城大 5名合格!**  
**防衛大 2名合格!**  
**防衛医科大 1名合格!**  
**東京理科大 1名合格!**  
**MARCH 7名合格!**

※防衛大・防衛医科大は1次試験合格者。

### 1 3年生進路状況 <速報>

【主な合格大学等】12月7日現在

国立大学	人数
茨城	5

国立大学校(1次)	人数
防衛	2
防衛医科	1

私立大学	人数
杏林	1
京都外国語	1
京都造形芸術	1
玉川	1
桐蔭横浜	1
敬愛	1
国土館	1
女子栄養	1
昭和女子	1
新潟医療福祉	1
神田外語	2
青山学院	1
川村学園女子	1
大妻女子	4
中央	1
中央学院	1
帝京	1
東京医療保健	1

私立大学	人数
東京家政	1
東京経済	1
東京工芸	1
東京未来	2
東京理科	1
東洋	1
東洋学園	1
日本	6
白百合女子	1
武蔵野	2
武蔵野	1
文教	3
法政	3
明治	2
明星	1
目白	1
立正	3
麗澤	1
國學院	2

私立短大	人数
女子栄養大短大部	1
聖徳大短大部	2
大妻女子大短大部	1

専門学校	人数
日本リハビリテーション	2
つくば国際ペット	1
バンタンゲームアカデミー	1
バンタンデザイン研究所	1
ベルエポック美容	1
国際航空	1
山野美容	1
ESPエンターテイメント東京	1
早稲田美容	1
大原簿記法律	1
東京ウェディングカレッジ	1
東京コミュニケーションアート	1
東京デザイン	1
東京医薬	1
東京製菓	1
東京総合美容	1
東京放送芸術&映画俳優	1
服部栄養	1

公務員・就職	人数
常総広域消防本部	1
関東鉄道株式会社	1

おめでとうございます

### 【1・2年生のみなさんへ】

上の表にある合格大学は推薦入試・AO入試での合格ですが、合格した場合は必ず入学することが条件の入試です。したがって「第1志望校」であることが受験する上での条件となります。また、試験内容が一般入試とは大きく異なりますので、推薦・AOでの受験を考えている人は、第1志望が固まっているのか、試験内容が自分に合っているかなども慎重に考慮しましょう。早く合格できるからといって安易に考えないでください。

## 2 2019年 大学入試傾向と定員充足率

大学名	2018年度	2017年度	要注意学部
大規模大学 (入学定員2000人以上) ※110%以上で補助金不交付			
早稲田	96%	101%	
慶應義塾	101%	102%	法 (108%)
上智	103%	104%	
東京理科	96%	100%	経営 (109%)
学習院	106%	112%	理 (109%) 国際社会 (108%)
明治	94%	109%	情報コミュニケーション (108%)
青山学院	96%	97%	
立教	98%	102%	
中央	96%	102%	
法政	100%	112%	スポーツ健康 (112%)
明治学院	96%	109%	社会 (114%)
國學院	109%	106%	神道文化フレックスB (108%) 法 (113%) 経済 (117%)
日本	104%	108%	商 (119%)
東洋	104%	110%	ライフデザイン (109%) 総合情報 (113%)
駒澤	108%	112%	仏教 (108%) 経済 (108%) 法フレックスA (113%) グローバルメディアスタディーズ (119%)
専修	106%	113%	文 (113%)
大東文化	104%	105%	経営 (111%)
東海	101%	104%	法 (112%)
帝京	103%	102%	文 (108%) 外国語 (108%) 教育 (126%)
国士館	108%	113%	政経 (109%) 体育 (109%) 理工 (108%) 法 (109%) 経営 (108%) 21世紀アジア (108%)
拓殖	97%	113%	
立正	102%	108%	心理 (108%) 文 (111%) 仏教 (112%) 社会福祉 (110%)
神奈川	106%	105%	経済 (109%) 経営 (114%)
関東学院	103%	109%	
中規模大学 (入学定員1000人以上2000人未満) ※120%以上で補助金不交付			
亜細亜	111%	114%	都市創造 (118%)
獨協	120%	138%	外国語 (121%) 国際教養 (125%) 法 (123%)
成蹊	102%	105%	
成城	110%	133%	法 (124%)
明星	110%	111%	
目白	103%	105%	
玉川	113%	115%	教育 (118%) リベラルアーツ (129%)
千葉工業	120%	118%	工 (124%) 情報科学 (119%) 社会システム科学 (120%)
文教	117%	113%	教育 (125%) 文 (121%) 経営 (121%)

上の表は千葉商科大学が作成した各大学の定員充足率の一覧です。転載の許可をいただいたので皆さんにお見せします。首都圏の大学は大学入学定員厳格化が適用されてしまい、定員超過できなくなりました。昨年超過してしまった大学はペナルティーとして1学部あたり何億円もの補助金をカットされてしまいました。それどころか今年は定員内不合格を出した場合は補助金アップになるという話も聞こえてきています。各大学とも補助金の額と入学者1人あたりの4年間の授業料を天秤にかけて、何人合格させるかを決定しているそうです。ということで今年注意しなければならない大学は、昨年度定員をオーバーしてしまった大学・学部ということになります。表の「**要注意学部**」欄に掲載されている学部については、**今回の入試では厳しい戦いになることを覚悟してください。**

### 3 出願校の決定は計画的に

#### (1) 藤高生は何校受験するの？

入試を受験するには**1校(1学部)あたり3万5千円**かかります。確かに実際に入学するのは1つの大学だけですし、支払う受験料なんて少ないに越したことはありません。しかし、一方で昨年の卒業生たちは、定員厳格化のあおりを食らったのか、自分の実力を見誤ったのかはわかりませんが、当初受験を予定していた大学に合格できずに、あとから追加、追加で受験していた生徒が何人もいました。中には、20校以上受験してしまった人もいます。なんと受験料だけで**70万円以上**ですよ。

調べてみると昨年的一般受験をした**藤高生は9校**受験した人が1番多いパターンでした。どうせ受験するなら最初から計画的に受験した方が、精神面にも体調面でも有利になり、良い結果が期待できることは明らかですね。

## (2) 国公立大受験者のみなさんへ

国公立大受験者はセンター入試の自己採点結果をもとに三者面談で出願する国公立大学を決定します。

その時、なにより大切なのは**視野を広く**もつことです。第一志望校に合格できそうもないからといって受験をあきらめてしまったり、合格できないのかわかっている大学に出願してしまう生徒が中にはいますが、なんとももったいない話です。東京の私大に通うよりも、たとえ下宿してでも、家賃も安く、給付型奨学金が充実している国公立大学に入学した方がかえって安くつくケースも多いです。

昔は高校を卒業して離ればなれになってしまうと友人とも疎遠になってしまいましたが、SNSが発達した現在では**スマホで友人とも毎日連絡**がとれてしまいます。

地方国公立大学へ入学すると就職もその地方でするしかないと思っている人がいますが、大学の資料を見ると実際には**首都圏出身者は首都圏で就職**しています。むしろ地元出身の人が就職したくても地方に就職先はそんなにありませんから、大都市圏に出るケースが多いそうです。

原発事故で放射能に怯えた東日本大震災の時、私が教えた生徒たちは、地方国公立大学を受験しておいて本当に良かったと言っていました。人生はいつ何が起こるかわかりません。ひとまず合格を手にしてから、どこの大学に入学するか考えればいいのです。

## (3) 出願校の決め方

今年は「日東駒専」や「大東亜帝国」レベルの大学の難易度の上昇が顕著であると言われています。一方で「早慶上智」や「MARCH」クラスは志願者減が予想されています。みなさんの最終学歴を決めることですから悔いの無いよう、出願校は保護者や担任の先生とよく相談して決定してください。

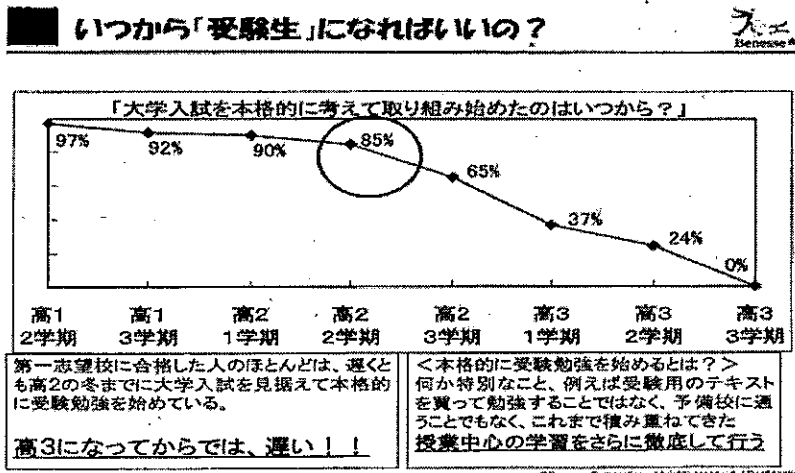
面談でも担任の先生からアドバイスがあると思いますが、出願校についての基本的な考え方は以下の通りです。

- ① 国公立大志望者は「第1志望国立前期・第2志望国立後期・すべり止め私立」が基本です。センター試験の自己採点から**確実に合格を勝ち取れる大学を選ぶ**必要があります。「国公立大学は不合格だったけど模試では良い判定をとった」などというのは自慢にもなりません。
- ② 国立大学は必ず後期試験まで受験しましょう。数年前、一橋大の**後期試験は欠席率95%****超**の学科がありました。221名出願して、当日の受験生は11名。1人除いて全員合格だったそうです。他の大学でも後期試験を受験してきた生徒に聞くと、「ガラガラだった」とか「教室に数名しかいなかった」と言う話をよく聞きます。最後まであきらめない人が合格を手にするのです。
- ③ 「目標校・志望校・確実校」のバランスを考えましょう。滑り止めは確実に合格する所をなるべく早い時期に受験しましょう。周りの生徒が合格して自分が合格していないと、非常に不安になる人がよく見受けられます。昨年は**滑り止めだと思って受験した大学に落ちてしまった**ケースが多発していました。くれぐれも確実校は「確実」であること。
- ④ 自分にとって譲れない条件は何かを考えましょう。①自宅から通学しなければならないのかor下宿してもよいのか?②どうしてもある特定の大学に行きたいのかor特定の学部学科で学びたいのか?③絶対国公立大or私大でもよいのか? etc.
- ⑤ **最終学歴は一生ついてまわります**ので「あの時受験していれば受かったかも」という後悔のないようにしましょう。
- ⑥ どうしても入りたい私立大学・学部は複数回受けることも可能です。(①センター利用、②一般、③全学統一etc)。大学ごとに出題傾向があるため、同一大学を3回以上受験すると合格率は上がるそうです。
- ⑦ 入試の体力・コンディションを考えよう。3日連続受験でも大丈夫でしょうか?さきほど一橋大の話を書きましたが、私立大でも同様の事が起こります。私大入試の最後は例年早稲田大ですが、その中でも一番

日程が遅い商学部や社会科学部では例年、千人単位で欠席者が出ています。気力・体力が続かなくて諦めてしまう人がこんなにも多くいるということです。逆に言うと他人が疲れている時こそ、日頃**部活で培った藤高魂**を発揮して合格するチャンスです。

- ⑧自分の得意・苦手科目を考え、配点に注意しましょう。
- ⑨先入観に囚われず、他学部にも目を向けましょう。観光学科と地理学科など、意外な学部・学科で似たような研究をしていたりします。また殆どの大学では他大学や他学部の講義を受講できるような制度があります。
- ⑩合格発表日、手続き切日を考慮してスケジュールをたてましょう。無駄な入学手数料を支払うことは、できれば避けたいものです。
- ⑪受験シーズンをめいっぱい活用しましょう。2月下旬出願や、中には3月出願などもあります。3月まであきらめずに、少しでも志望順位の高い大学をめざそう。
- ⑫多くの大学で受験料割引制度があります。大学の願書やウェブサイトを確認してみましょう。

#### 4 2年生、あなたの番です！ 受験生になっていますか？



2年生・1年生は受験勉強は3年生になってから受験勉強始めればよいと思っているかもしれませんが、秋の進路講演会で話があった通り、もうすでに2年生は受験生になっていなければなりません。**高2の2学期までに受験勉強をスタート**すれば第一志望校に合格する可能性が非常に高くなることが左図からわかります。

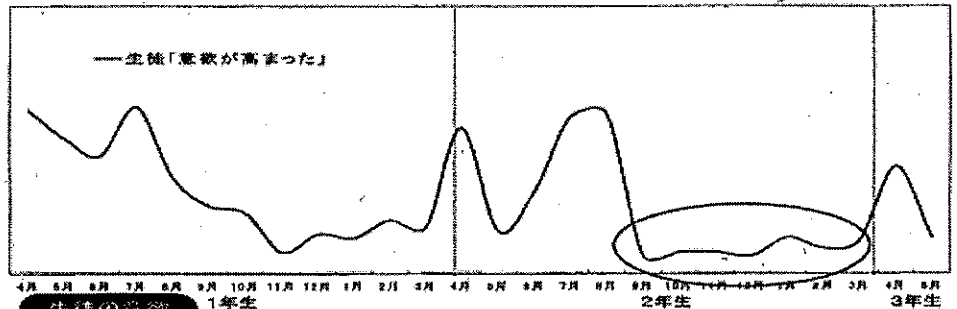
一般的には、どの進学校でも「修学旅行から帰ったら受験生だ」と話をしています。それはこういうデータがあるからなのです。

そして右の図のように、この時期は3年間で最も勉強に対するモチベーションが下がっている時期でもあります。今の時期に受験を意識し始めればライバルにグッと差をつけることができます。さあ、まだスタートしていない人は今日から始めましょう。

1年生はあと1年で受験生になるのです。その準備として分からない箇所や欠点を克服し、基礎を固めておきましょう。

### 2年生後半期が最も差がつく時期

#### 高校生の意欲曲線



**1年生**

- ・入学直後、夏休み前は意欲が高まりやすい
- ・夏休み明け以降、意欲が高まりにくい時期が続く

**2年生**

- ・1年生同様に進級直後、夏休みは意欲が高まりやすい
- ・夏休み明け、1年生よりもさらに意欲が高まりにくい時期が続く

急に寒くなり、風邪やインフルエンザも流行しています。体調管理に気をつけて、最後まで第一志望を目指してがんばってください。藤代高校進路指導部一同、3年生を応援しています。